

令和 6 年 8 月 7 日

大山町議会議長 米本 隆記 様

大山町議会議員 池田 幸恵

大山町議会議員派遣報告書

1	目的	鳥取県町村議会女性議員研修会
2	派遣場所	
3	期間	令和 6 年 7 月 22 日 (月)
4	派遣議員	鳥取県町村議会女性議員
5	報告	<p>【内容】</p> <p>今回の研修会の目的は、前回の研修目的の「鳥取県町村議会女性議員がつながって支え合うための仕組みづくり」から一步進んで「鳥取県内の町村議会の女性議員が仲間づくりをするための手法と手段が得ること」また少数派の意見の実現の手法について学んだ。</p> <p>【講師】</p> <p>一般社団法人 WOMANSHIFT 代表理事 台東区議会議員 本目さよ氏 一般社団法人 WOMANSHIFT 理事 目黒区議会議員 たぞえ麻友氏</p> <p>【所感】</p> <p>・熊本市議会で赤ちゃん連れて議場に入られた女性市議の新聞記事をもとにワークショップを行った。妊娠から出産、子育てと期間がある中での議会や議会事務局の対応や、議会規則には明記されていなかったことなどをグループディスカッションした。</p> <p>熊本市議会の規則も男性目線での規則であったため明記されてなかったのではないのか？妊娠した時点で出産、子育てと続くのは予測できたことではないのか？女性市議会議員の要望の声はなぜ届かなかったのか？など疑問に思うことを話し合いながら、昨年広報常任委員会で視察した取手市議会は議員控え室に託児スペースがあったのを思い出した。柔軟に対応する議会と変わらない(変えない)議会であるように感じた。</p> <p>小さなスペースだが大きな改革。出産直後の議会が産休ではなく欠席扱いなど、女性の活躍の幅が広がるにつれて課題もたくさん見えてくるのではないかと感じた。熊本市議会の規則には今回のことは規則違反と明記されたのは残念。まだまだ少数派とくに会派に属していない女性の意見を通すのは非常に難しく、意見の中にはあきらめているとの声もあり、今のため、次の世代のためには・・・と考える研修であった。</p>

